

S4
?t4/7/1

1 PN="JP 75005751"

4/7/1

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

000879640

WPI Acc No: 1972-39628T/197225

Biaxially drawn polyamide film - having improved shrink characteristic and dimensional stability

Patent Assignee: TOYO BOSEKI KK (TOYM); TOYO SPINNING CO LTD (TOYM)

Number of Countries: 005 Number of Patents: 007

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
DE 2160118	A					197225 B
FR 2116530	A					197244
GB 1321167	A					197325
JP 75005751	--B	19750306				197514
JP 75005752	B	19750306				197514
DE 2160118	B	19770303				197710
US 4133802	A	19790109				197904

Priority Applications (No Type Date): JP 70107844 A 19701204; JP 70107843 A 19701204

Abstract (Basic): DE 2160118 A

An undrawn polyamide film comprising at least 70 mol % repeat units derived from m-xylylene diamine or a mixture of m and p-xylylene diamine contg. is not >30 mol % p-xylylene diamine and an aliphatic alpha, omega - 6-10C dicarboxylic acid is biaxially drawn, either simultaneously or consecutively. If drawn simultaneously, this is effected according to the inequality $-10W + 120 + 12 \log Epsilon / 1000 > T \geq -6W + 80$ (I), and if drawn stepwise or consecutively, according to the inequality $-10W + 130 + 7 \log Epsilon / 1000 > T \geq -6W + 80$ (II) where w is the humidity content of the undrawn film in wt %, Epsilon is the rate of drawing in %/min. and T is the drawing temp. in degrees C. Products have outstanding shrink characteristics, dimensional stability mech. props. transparency and impermeability to gases.

Derwent Class: A23; A32; A94

International Patent Class (Additional): B29D-007/24; C08G-041/02;
C08G-069/46; C08J-005/18; C08L-077/06
?

優先権主張
出願国：ドイツ
連邦共和国
出願日：1972年2月9日
出願番号：07245141.5

特許願(B)

昭和48年11月23日

特許庁長官　森　英　風　殿

1. 発明の名称

自動心出しクラッチ解放軸受

2. 発明者の住所氏名

(氏名) ドイツ連邦共和国 172 シュワインフルト
ハラルド・ハムバーグ・シュトランゼ 60

(氏名) クラウス・レーンネ

3. 特許出願人の住所氏名 (国籍)オランダ国

(住所) オランダ国 アムステルダム オーベルトーム
141-143

(名称) エス・カール・エフ・インダストリアル
トレイディング アンド デベロップメント
カンパニー ピー・ヴィ

4. 代理人 代表者 ウエルナー・グランツ

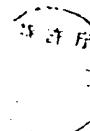
実便番号 105 東京都港区芝公園町26 第二文民ビル
電話番号 (501) 8751

4324 左様士 福田信行

(1か1名)

5. 添附書類目録

- (1) 明細書 1 部
- (2) 図面 1 部
- (3) 要旨状及び訳文 1 部
- (4) 優先権主張証明書(後日補充) 1 部



明細書

1. 発明の名称

自動心出しクラッチ解放軸受

2. 特許請求の範囲

その穴の中にさる弾性リングまたは同種のものによつて穴の中に配置された軸に対して角運動するよう支えられ、解放部品の回転軌道輪へのかみ合いのために球状の前面を有する自動心出しクラッチ解放軸受に於て、弾性リングが移動部品の力作用の範囲内に配置され、前面が球形(10)として作られ、その中心部は弾性リング(1)の半径方向面と軸(1)の中心軸ビードとの交点にあり、この交点は解放軸受(2)の角運動の旋回中心(11)を成していることを特徴とする自動心出しクラッチ解放軸受。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、その穴の中にある弾性リングまたは同種のものによつて穴の中に配置された軸に対して角運動するよう支えられ、解放部品

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

⑪特開昭 50-5751

⑬公開日 昭50.(1975)1.21

⑭特願昭 48-130807

⑮出願日 昭48.(1973)11.22

審査請求 未請求 (全4頁)

序内整理番号

	⑯日本分類
6727 31	53 A320.1
6461 31	53 A22
6461 31	53 A206

の回転軌道輪へのかみ合いのために球状の前面を有する自動心出しクラッチ解放軸受に関するものである。

クラッチケーシングまたは歯車箱に固定された案内部と固定した案内部に軸方向に移動するよう配設された移動部とから成る、とくに自動車用のクラッチの解放軸受(ドイツ出願公告1929184)は公知である。ここでは移動部の穴の径が案内部の径よりも大きくなっている。移動部は挿入された可搬な手段を介して固定した案内部に支えられている。この文献では、スペリブッシュは全く述べてよいとも述べられている。可搬な手段は内輪のみぞの中に直接にしあみむことができる。

この技術水準から出発してこの発明の対象は、それが完全に避けられ、追加の力またはモーメントが軸受に伝えられないようクラッチ解放軸受をクラッチ側の解放部品に対して心出しだすという課題を基礎にしている。

この課題はこの発明によれば、クラッチ解放

軸受の穴の中にある弹性リングが移動部品の力作用の範囲内に配置され、クラッチ解放軸受の前面が球形として作られ、その中心は弹性リングの半径方向面と軸の中心軸との交点にあり、この交点が解放軸受の角運動の旋回中心を成していることによつて解決される。これによつて、解放機構が軸またはガイドブッシュ上に直線に支えられ、移動機構と固定軌道輪との間にすべり運動から生じる付加力がクラッチ圧縮ばねとして作られた解放部品を介して伝えられないことが、有利に達成される。

この発明のもう1つの有利な構成では、解放部品はクラッチ解放軸受の球形として作られた前面に対して円錐形に曲げられている。解放部品は凹面に作ることもできる。

さらにこの発明によれば、球形に嵌する偏心輪が支持ばねによって解放部品に支えられ、これと接触していると有利である。

この発明のその他の利点、特徴および適用可能性は、以下で説明する図から明らかになる。

第2図はこの発明のもう1つの実施例を示し、ここでは内輪³の前面の球形¹⁰が偏心輪¹⁴の球形状の面と組合わされている。この球形状の面¹³の半径がR₁で表わされている。偏心輪¹⁴は支持ばね¹⁵によつてその位置に保持され、圧縮ばね¹¹がその前面を押している。

第1図ではクラッチばね¹¹の力作用点¹²が軸またはガイドブッシュ¹の中心軸³⁻²に投影されている。ここで交点¹⁰が生じる。クラッチの旋回軸とクラッチ圧縮ばね¹¹の間にすれがあると、回転軌道輪³とクラッチ圧縮ばねの間および回転軌道輪³と軸またはガイドブッシュ¹の間にすべり運動が生じる。このすべり運動はM-Dの距離を大きくすることによつて減らすことができる。

第3図はこの発明のもう1つの実施例を示す。ガイドブッシュまたは軸と第1図の弾性リングは、ここでははぶくことができる。クラッチ軸受²はここではレバーまたは凸板¹⁸に角運動するよう支持されている。力作用点¹²で表わされ

る第1図は軸¹またはガイドブッシュ上にあるクラッチ解放軸受²を示す。クラッチ解放軸受はこの例ではアンギュラ玉軸受として作られ、内輪³、転動体⁴および外輪⁵から成る。すべりブッシュとして作られた外輪⁵の穴⁶の中にみぞ⁷があり、これが弹性手段⁸を受ける役目をする。この実施例では外弹性手段⁸はそれ自体公知の丸コードリングである。弾性のリングをせなえるとともにできる。図示していない移動部品は、でクラッチ解放軸受のすべりブッシュとして作られた外輪⁵に作用する。力作用点¹²と丸コードリング⁸はC-Bで表わした半径方向の平面の中にある。ガイドブッシュまたは軸¹の中心軸³⁻²はこの平面とMで交わる。この点Mは内輪³の前面を成す球形¹⁰の半径R₁の中心である。クラッチ圧縮ばねとして作られクラッチと連結している解放部品は球形¹⁰で支えられる。この実施例ではクラッチ圧縮ばね¹¹はその端¹²が曲げてある。端¹²はやうに作られるかまたは球形¹⁰の輪郭に合わせてある。

ている。力作用点¹²は回転軌道輪³の球形¹⁰の中心にもなつてゐる。部品を明らかにするために第1図の引用番号が書き込まれてゐる。

この発明の実施態様を要約すれば次の通りである。

- (1) 圧縮ばね¹¹として作られている解放部品が球形として作られた前面に対して円錐形に曲げてあることを特徴とする特許請求の範囲に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (2) 圧縮ばね¹¹として作られている解放部品が球形として作られた前面に対して凹形に作られていることを特徴とする前記(1)に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (3) 支持ばね¹⁵によつて解放部品に支えられると接触¹⁶している球形にふれる偏心輪¹⁴を特徴とする前記(1), (2)に記載の自動心出しクラッチ解放軸受。
- (4) 回転しない軌道輪³がレバーまたは凸板¹⁸に角運動するように支えられ、レバー¹⁸の力作用点¹²が回転軌道輪³の球形¹⁰として作ら

第1図

れた前面の中心を成してゐることを特徴とする前記(1)～(3)に記載のクラッチ解放軸受。

「 図面の簡単な説明

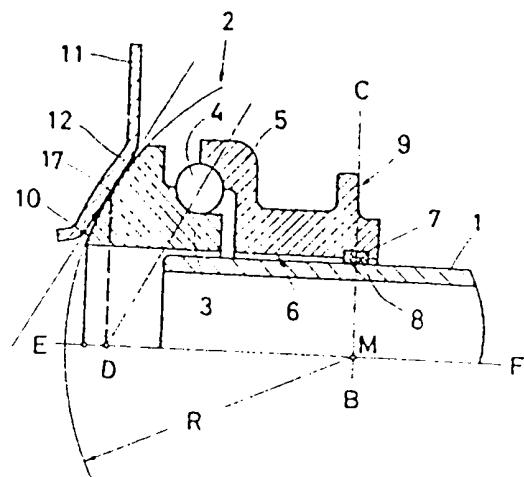
第1図はこの発明によるクラッチ解放軸受の側面図、第2図はこの発明のもう1つの実施例でのクラッチ解放軸受の前面と解放部品との組合せ、第3図はこの発明のもう1つの実施例を示す。

なお、図において、1は軸、2は解放ねじ、3、4は軸受け、5はリング、6は力作用の範囲、10は球体、11は圧縮ばね、14は偏心輪、15は支持ばね、16は被膜、18はレバーまたは円板である。

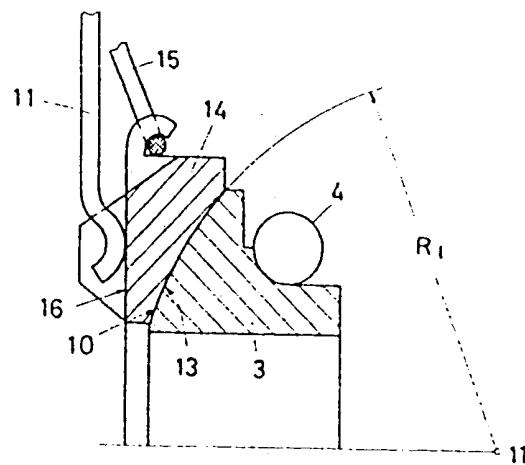
特許出願人 エス カール エフ インダストリアル
ドレイティング アンド デベロップ
メントカンパニー ピー グイ

同 代理人 仙 口 信 行

同 代理人 仙 口 式 道



第2図



第3図

